

黄綬褒章受章の橋本大輔氏 (ファミリー社長) (ファミリー副理事長)

# 晴れの受章記念祝賀会

## 業界関係者や政財界の約300人が祝福

令和元年春の叙勲で黄綬褒章を受章した橋本大輔・(株)ファミリー社長の受章記念祝賀会が7日、福岡市のグランド・ハイアット福岡で開かれた。祝賀会には不動産および金融機関の関係者や地元選出の国会議員など約300人が出席し、橋本社長の受章を祝った。

### 不動産業界の発展に尽力

橋本社長は大学卒業後、大手マンションデベロッパー勤務を経て1994年に(株)ファミリーを設立、当初の社員は3人だった。同社は創業後、不動産管理業への進出など事業を拡大し、これまで販売した自社ブランド・ファーンレストシリーズの分譲マンションは88棟、グループ総売上高は100億円に迫り、地場の有力マンションデベロッパーの一社に位置付けられている。現在は福岡都市圏での分譲マンション開発を中心に、戸建住宅事業や不動産管理業などを展開。5月には長崎支店を設け、九

「グランド・ハイアット福岡」で開催

州一円での事業展開も図っている。病気の子どもや家族が滞在できる支援施設「ドナルド・マクドナルド」。

「ファーンレストマンション」を信頼のブランドに  
全社一丸で業績拡大 || グループ総売上高100億円に迫る

諸藤敏一・九住協理事長が発起人代表に  
「ファミリーの名を不動のものに  
自分のことのように嬉しい」

祝賀会は諸藤敏一・九州住宅産業協会理事長(株)三共会長)の各氏と橋本崇(株)コーセーアールイー社長)が発起人代表となり、九住協副理事長の田中浩和(株)アーム・レポ社長)、原田透(株)えんホールディングス社長)、坂口剛彦(株)イー・アンド・エイチ(株)が



祝賀会には約300人が出席した＝グランド・ハイアット福岡

ド・ハウスふくおか」や障がい者スポーツの普及とアスリート育成に取り組み「シーズアスリート」などの社会貢献活動も積極的に

行っている。橋本社長は2002年から(一社)九州住宅産業協会副理事長を務めるなど地元住宅業界の要職を担っている。そのこれまでの功績が認められ、今回の褒章受章となった。

してこれら橋本社長の功績は非常に大きい。私自身にとっても、長年苦業を共にしてきた盟友が黄綬褒章を受章したことは自分のことのように嬉しいことで、九住協としても非常に嬉しいことだ」としたうえで

「橋本社長は社員を家族と捉え、その成長を見守りた」という思いからファミリーという会社を設立し、現在の規模に成長させるだけでなく、業界の発展や次世代を担う人材の育成など幅広い活動をされて来た。今後もさらなる発展とご活

### 「受章は皆さんのお陰、親孝行ができた」

#### 橋本社長 培ってきた経験を若い社員や業界に還元

橋本社長は「今回の受章は、これまで不動産業に従事して携わっていただいた業界関係者などすべての方のご指導のたまものである。私ひとりの受章ではないと考えている。創業後、リーマン・ショックなどの大きな壁も立ちかはなかったが、多くの人の支えもあった。不動産業に従事して足掛け42年となるが、今回の

受章を業界のさらなる発展へもつとがばりなさい」ということを受け止め、私が培ってきた経験を若い社員や業界に還元していきたい」と述べた。また、100歳と95歳の両親に褒章受章を報告すると「非常に喜んでくれ、親孝行ができた」と感じた」と笑顔をみせた。

その後、受章を祝う鏡開きを経て乾杯、懇談に移り、橋本社長夫妻が各テーブルを回って出席者に感謝の意を伝えていた。ステージ上ではダンスや歌の余興もあった。橋本常務はお礼の言葉で「今後も既存事業の強化と新たなチャレンジにまい進し、(株)ファミリーをさらに成長させていきたい」と力強く語った。

最後は田中副理事長らが登壇しての博多祝い唄、博多手一本で中締めとなった。



受章を祝して行われた鏡開き

躍を祈念したい」と述べた。さらなるファミリーの発展に向けて尽力

柴戸隆成・福岡銀行 会長兼頭取が祝辞  
来賓の柴戸隆成・福岡銀行会長兼頭取は「橋本社長の強いリーダーシップの

と、社員の皆さんと一丸となって業績拡大に取り組んでこられたことが、現在の強固な企業体制を構築できた要因だと考えている。今後、さらなる(株)ファミリーの発展に向けて尽力したい」とあいさつした。